

令和3年(2021年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年1月 数 量 (トン)	2021年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候の影響も少なく、入荷は順調でした。入荷量は前年並みで推移しました。量販店を中心に需要が高く、平均単価はかなり高く推移しました。	611	90	100%	124%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。年内から温暖な気候が続いた結果、順調な生育により、入荷量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	739	36	111%	53%
3		きゅうり	宮崎県産・高知県産・千葉県産中心の入荷でした。天候の影響も少なく、順調な生育により、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	293	393	133%	62%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。入荷量は前年並みで推移しました。冷え込みや乾燥により、不安定な出荷が続き、平均単価はかなり高く推移しました。	82	661	100%	125%
5		馬鈴薯	中旬の北海道・九州地区の大雪による輸送の乱れにより、1週間以上入荷が滞った影響により、入荷量はやや減少に留まりましたが、平均単価は大幅に高く推移しました。	257	193	90%	216%
6	果 実	みかん	静岡県産が前年より多い出荷となり、入荷量はかなり増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	730	261	125%	100%
7		ふ じ	青森県産中心の入荷でした。産地貯蔵在庫が多く、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	162	293	103%	93%
8		いちご	前年に比べ、全国的に苗の生育が順調となり、上中旬に一番果の出荷がピークとなり、入荷量はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	152	1,561	148%	83%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上